



環境活動報告書(2014年度)

(2015年10月発行)



株式会社 渡商会
WATARI Co.,Ltd.

目次

1.	会社概要	1
	(1) 株式会社渡商会	
	(2) 第一マルワ石油株式会社	2
	(3) WATARI VIETNAM Co.,Ltd.	
	(4) WATARI MANUFACTURING GAS SERVICE CO.,LTD.	
	(5) 売上高	3
	(6) ISO14001活動の取り組み	
	(7) 報告書に関する情報	
2.	ご挨拶	4
3.	環境方針	5
	(1) 環境方針	
	(2) マネジメント体制	
4.	新エネルギー事業への取り組み	6
	(1) 蓄圧ユニットの製作	
	(2) 水素ガスステーションの設営及びメンテナンス	
	(3) 35MPa 移動式水素ガス充填設備を保有	
5.	環境に関する取り組みの状況	7
	(1) 著しい環境側面	
	(2) 環境活動：目標	
	(3) 環境活動：結果	8
	(4) 個別の環境活動について	9
	① 地球環境への負荷の低減	
	i) フロン回収	
	ii) 車両の排気ガスのクリーン化	
	② 省エネルギー・省資源の推進	
	i) 電気使用量の削減	10
	ii) 自動車燃料使用量の削減	11
	iii) コピー紙使用量の削減	13
	③ 廃棄物の削減及び資源リサイクルの推進	
	i) 産業廃棄物排出量の推移	
	ii) 金属リサイクルの取り組み	14
	iii) 紙類リサイクルの取り組み	
	iv) 再使用の取り組み	
	④ 環境商品の取り組み	
	⑤ グリーン購入・調達の推進	15
	⑥ 地域社会との共生	
	⑦ 法令順守の状況	17
	⑧ 物流関連のエネルギー使用の状況	
	⑨ 教育関連	
	⑩ 2014年度CO ₂ 排出量	
6.	各種団体への参加	18
7.	投資	

1. 会社概要

(1) 株式会社渡商会

商号：株式会社渡商会
本社所在地：神奈川県横浜市子安通2丁目234番地
創立：1925（大正14）年8月
設立：1947（昭和22）年11月
代表取締役社長兼CEO：河西哲男
資本金：2,000万円
従業員数：151名（2015年4月30日現在）
第一マルワ石油株式会社出向者除く
事業内容：各種高圧ガスの販売、高圧ガス関連設備の設計施工管理
医療関連設備機器の販売、保守管理

営業所	所在地
栃木営業所	栃木県河内郡上三川町大字石田字北浦1240
上武営業所	群馬県太田市新田上江田町450-1
多摩営業所	東京都八王子市石川町2552
厚木営業所	神奈川県厚木市長谷260-31
名古屋営業所	愛知県名古屋市緑区大高町字寅新田1-1
三重営業所	三重県津市雲出伊倉津町1268-3
津事業所	三重県津市雲出鋼管町1
福岡営業所	福岡県京都郡苅田町新浜町1-32
苅田事業所	福岡県京都郡苅田町新浜町1-3
茨城出張所	茨城県下妻市本城町2-77



(2) 第一マルワ石油株式会社

商 号：第一マルワ石油株式会社
本 社 所 在 地：神奈川県横浜市子安通2丁目234番地
設 立：1974（昭和49）年7月
代 表 取 締 役：渡茂樹
資 本 金：1,000万円
従 業 員 数：5名（2015年4月30日現在：株式会社渡商会より出向）
事 業 内 容：石油製品の販売

営 業 所 京 葉 営 業 所 千葉県浦安市北栄1-11-1 ダイゴビル303

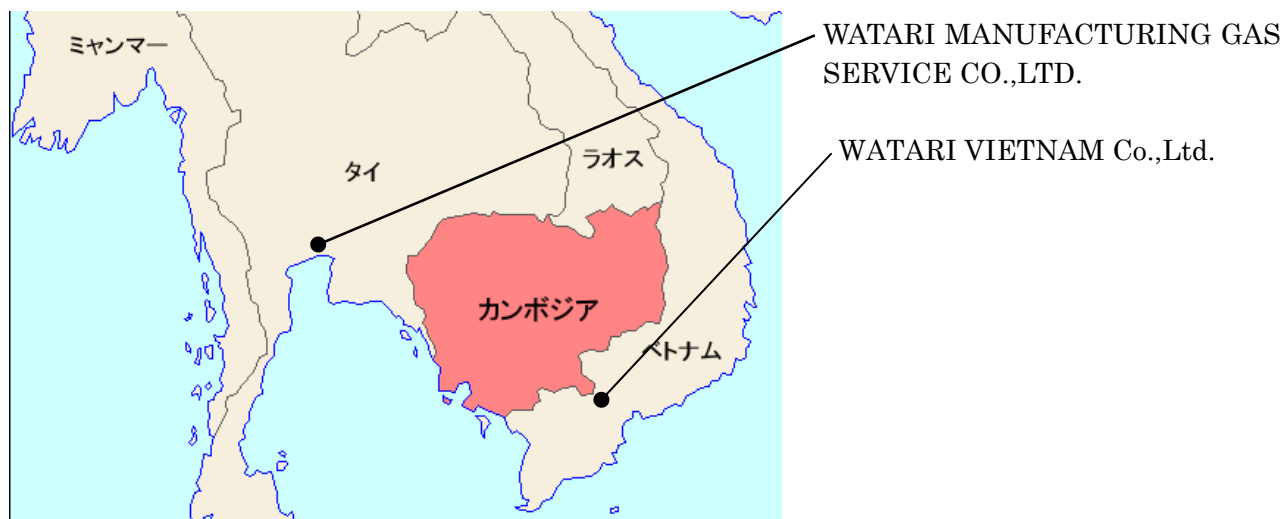
(3) WATARI VIETNAM Co.,Ltd.

商 号：WATARI VIETNAM Co.,Ltd.
本 社 所 在 地：Unit603-6th Floor-Phuong Tower 31C Ly Tu Trong St.,Dist1,HCMC,Vietnam
設 立：2012年11月
代 表 取 締 役 社 長：河西健二
資 本 金：500,000 USD
事 業 内 容：高圧ガス、ガス設備・機器、ガス配管の設計・施工・管理、ガス漏れ警報装置、溶接材料

(4) WATARI MANUFACTURING GAS SERVICE CO.,LTD.

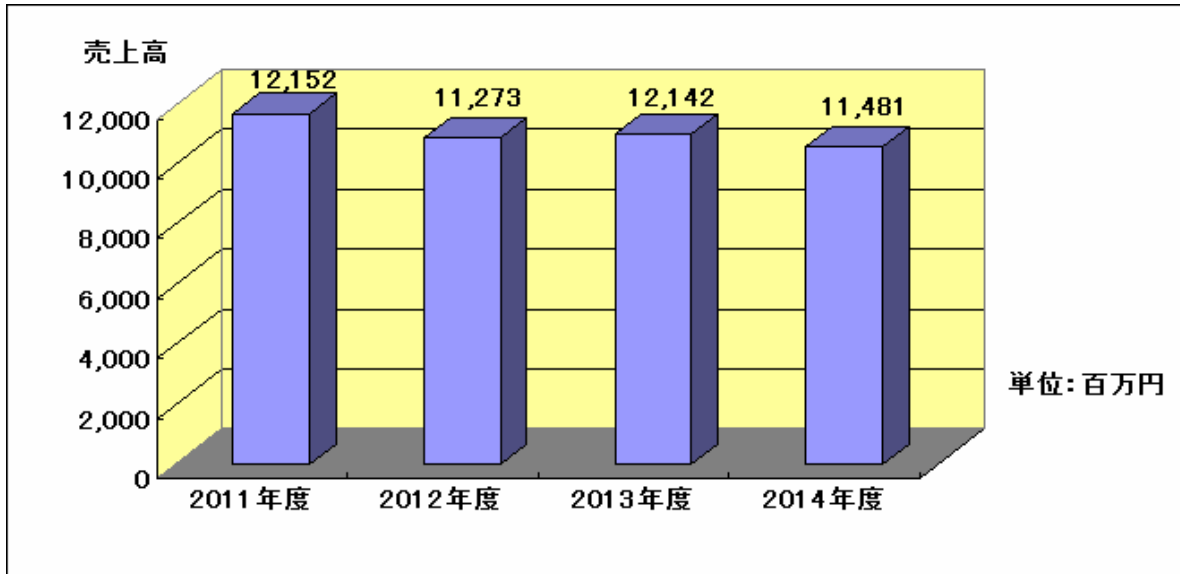
商 号：WATARI MANUFACTURING GAS SERVICE CO.,LTD.
本 社 所 在 地：888/205 Moo 19 Bangpleeyai, Bangplee, Samutprakarn 10540 Thailand.
設 立：2015年4月
代 表 取 締 役 社 長：岡林 実
資 本 金：9,900,000 Baht
事 業 内 容：①空温式ペーパーライザの製造
②一般工業ガス・特殊ガス・ガスタンク・ガス機器の販売
③溶断溶接用機器・器材
④ガス供給設備・制御盤・消費設備・配管・配線の設計施工製作
⑤水浄化システムの販売
及び上記製品のスペアパーツと付属品。

2013年9月に設立した WATARI (THAILAND)CO.,LTD.を前身とし、新たにペーパーライザの製造等を目的に2015年4月に設立しました。



(5) 売上高

当社の売上高の推移は以下のとおりです。



(6) ISO14001活動の取組み

ISO14001認証取得年月

2001年7月19日

ISO14001認証更新年月

2013年7月19日

認証範囲 (サイト)

株式会社渡商会本社、厚木営業所、多摩営業所
第一マルワ石油株式会社本社 (※1)

特定される活動

高圧ガス及び関連機器の販売、高圧ガス関連設備の
設計、施工管理

登録番号

01ER・143

審査登録機関

高圧ガス保安協会 ISO審査センター

(7) 報告書に関する情報

編集方針 本報告書は、株式会社渡商会の環境保全活動に関して記載しています。

対象事業所 株式会社渡商会本社、厚木営業所、多摩営業所、及び第一マルワ石油株式会社本社
2014年11月から栃木営業所、上武営業所、三重営業所、名古屋営業所及び福岡営業所を対象に追加しました。

対象期間 株式会社渡商会本社、厚木営業所、多摩営業所、第一マルワ石油株式会社本社

2012年5月から2015年4月まで

栃木営業所、上武営業所、三重営業所、名古屋営業所、福岡営業所

2014年11月から2015年4月まで

※1 上記5営業所は、2014年11月より活動を開始しました。

2015年7月に、正式に認証組織に加わりました。

※2 環境保全活動以外の会社概要等の内容は、発行日現在のものです

2. ご挨拶

企業ビジョン

挑戦そして成長

私達は常に新しい分野に挑戦し、商社機能とメーカー機能を併せ持つ
国内外のリーディングガスカンパニーを目指します

2015年8月、当社は創業90周年を迎えることができました。創業以来今日まで、産業用・医療用ガスの専門商社としてお客様にさまざまな分野での高圧ガスの提供を行ってまいりました。お客様へのガスの供給には安心・安全が欠かせません。この創業90周年を契機としてこれからもこの安心・安全と共にガスをお届けし100周年に向けて歩み続けます。

さて長い歴史の中でガス供給を続けてまいりましたが、企業ビジョンにあるように近年では商社機能だけではなくメーカー機能を併せ持つべく挑戦・成長を続けています。既に海外に子会社を設立し国内ではプラント会社に資本参加したことをご案内しております。また国内においては従来の業種・品種の枠を越えてお客様に商品・サービスを提案し開拓して販路を広げるべく活動しています。

お客様のニーズに寄り添い新たな商品を提案するには、そのご要求に対する感性を強めることが重要です。当社では様々な社員教育の場を用意し実践しています。会社が成長するためには、社員一人ひとりの意識改革が重要と考えています。

また、重要な取り組みの一つとして、新エネルギー事業への取り組みも掲げています。環境の取り組みの一つであるお客様に環境商品を提案することに通ずるもので、環境の活動が特別な業務としてではなく、日常業務として営業活動の重点項目に採り上げられています。

本年6月には、営業所へ環境マネジメントシステムの認証を拡大しました。当社の環境マネジメントシステムの活動の体制がようやく整いました。これからは、新エネルギーへの取り組みをはじめ、様々な環境商品をお客さまに提供することで、お客様と共に「地球環境保全対策方針」に掲げる活動の成果を高めてまいります。

本報告書をご高覧の皆様には、当社の活動にご理解を賜りますとともに、変わらぬご鞭撻・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



2015年10月30日
株式会社 渡商会
代表取締役社長兼CEO 河西哲男

3. 環境方針

(1) 環境方針

地球環境保全対策方針

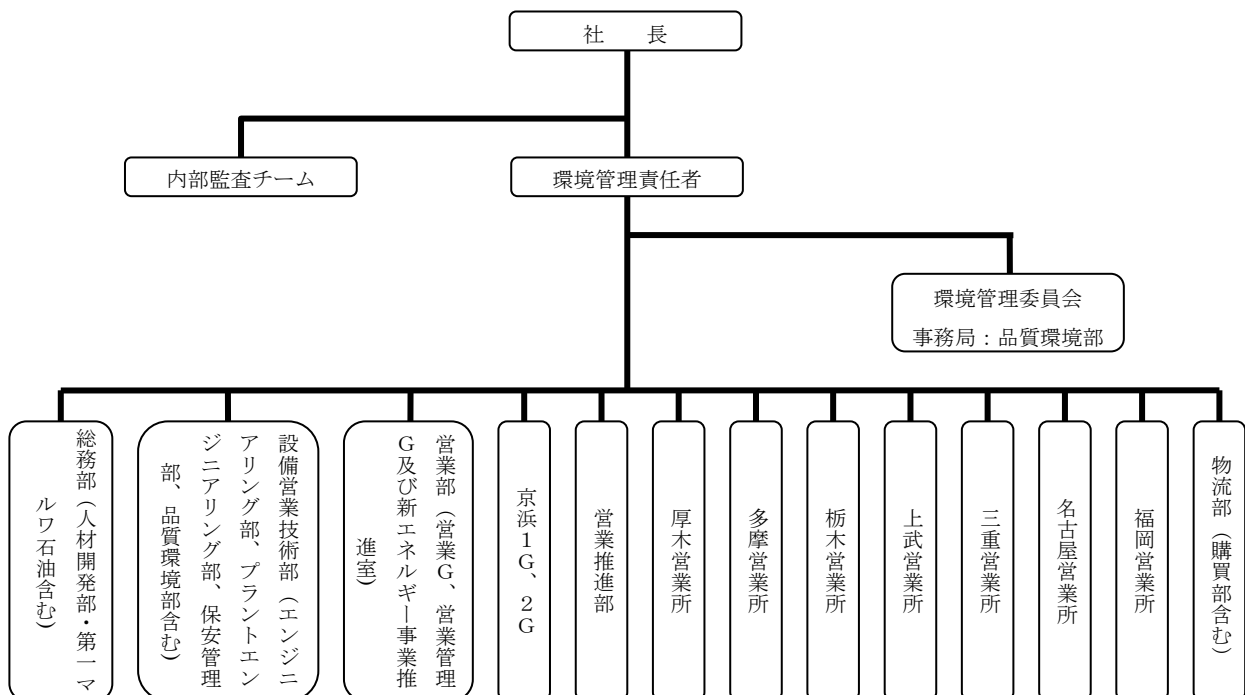
2012年5月1日改訂
株式会社 渡商 会
代表取締役社長 河 西 哲 男

当社は、高圧ガスをはじめとする各種商品の販売及びサービスの提供を通じた事業活動の中で、地球環境保護の活動を推進し、全生物が豊かに共生しうる地球環境の維持を目指す。

1. 当社は、環境に関する適用可能な法的規制及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、汚染の未然防止に努める。
2. 当社は、企業活動のさまざまな局面において、地球環境への負荷の低減を図るため、次の事項を積極的に推進する。
 - (1) 省エネルギー、省資源
 - (2) 資源のリユース、リサイクル、廃棄物の削減
 - (3) 環境に配慮した商品の開発、販売、購入
 - (4) 未来エネルギー関連事業の強化
 - (5) フロンの回収、廃棄活動への関与
 - (6) 地球にやさしい流通の実現
3. 当社は、環境目的・目標を設定し、環境管理活動を推進するとともに、見直しの枠組みを設け、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努める。
4. 本方針は、文書化するとともに、全従業員及び 当社のために働くすべての人に周知する。また、環境保全意識向上のための教育、啓蒙活動を実施する。
5. 本方針は、一般に開示する。

(2) マネジメント体制

マネジメント体制は、2014年11月1日から栃木営業所、上武営業所、三重営業所、名古屋営業所及び福岡営業所が加わって、下図のようになっています。



4. 新エネルギー事業への取組み

地球環境保全対策方針にあるように、当社では新（未来）エネルギー事業に関する取り組みを経営上の最重要課題と位置付けています。

当社では2014年3月に新エネルギー事業推進室を立ち上げ、事業環境を整えてまいりました。

現在、新エネルギー事業推進室では大きく3つの核となる項目を構築し、環境保全も目的に含めながら、お客様への展開を進めています。

3つの核となる柱は以下のとおりです。

(1) 蓄圧ユニットの製作

水素ガスステーション設置用の蓄圧器ユニットの製作・据付



(2) 水素ガスステーションの設営及びメンテナンス

70MPa対応の水素ガスステーションの設営及びメンテナンスを実施しております。

当社ではグループ企業にアロープラント株式会社を有しており、その連携により、設営及びメンテナンスに対応しております。

(3) 35MPa 移動式水素ガス充填設備を保有

当社では、充填圧35MPaの移動式水素ガス充填設備を保有しており、FCVに充填が可能です。



新エネルギー事業推進室

5. 環境に関する取り組みの状況

(1) 著しい環境側面

2015年1月に実施した環境側面の定期見直しで、特定された当社の環境側面は以下のとおりです。

環境側面／環境影響	部署	定常時／非定常時
コピー紙の使用／天然資源	全部署	定常時
電気の使用／エネルギー	全部署	定常時
自動車燃料の使用／天然資源	全部署	定常時
排気ガスの発生／大気汚染	全部署	定常時
環境に配慮した商品の購入／有益な側面	全部署	定常時
フロン回収作業の提案／有益な側面	営業推進部	定常時
環境に配慮した商品の提案／有益な側面	京浜 1G、2G、営業部、営業推進部、総務部、営業所	定常時
車両からの粉塵の発生／大気汚染	設備営業技術部、京浜 1G、2G、営業部、営業推進部、総務部、営業所	定常時
環境に配慮した設計／有益な側面	設備営業技術部、京浜 1G、2G、営業推進部、営業所	定常時
可燃性ガス大量漏れの発生／職場環境	設備営業技術部、営業推進部、営業部、物流部、営業所	非定常時
毒性ガス大量漏れの発生／職場環境	営業推進部、営業部、物流部、厚木営業所、上武営業所、福岡営業所	非定常時
塩化水素大量漏れの発生／職場環境	福岡営業所	非定常時

(2) 環境活動：目標

環境方針、著しい環境側面、法規制等の要求事項から2014年度の環境目標を下記のとおり設定しました。

項目	2012年度目標	2013年度 目標	2014年度 目標（*1）
地球環境への負荷の低減	フロン回収作業の実施 12回	フロン回収作業の実施 12回	フロン回収・廃棄活動の推進
	低公害車の現状把握 チャレンジ 25 キャンペーン参加のための検討会 2回	チャレンジ 25 キャンペーンの取り組み 各種施策周知	チャレンジ 25 キャンペーンの取り組み 各種施策周知
省エネルギー・省資源の推進	電気使用量 2010年度比 16%減	電気使用量 2010年度比 17%減	電気使用量 2010年度比 18%減 (本社、厚木、多摩) 電気使用量 2012年度比 1%減 (*2 半期分) (厚木、多摩以外の営業所)
	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台	空調設備の更新 1台
	自動車燃料使用量 監視測定 (本社)	自動車燃料使用量 2012年度比 5%減 (本社)	自動車燃料使用量 2013年度対比 1%減 (本社、厚木、多摩)
	自動車燃料使用量 2011年度比 5%減 (厚木、多摩)	自動車燃料使用量 2011年度比 6%減 (厚木、多摩)	自動車燃料使用量 2013年度対比 1%減 (*2 半期分) (厚木、多摩以外の営業所)
	燃費向上 2011年度比 1%向上	燃費向上 2010年度比 2%向上	燃費向上 2011年度比 3%向上 (本社、厚木、多摩) 燃費向上 2014年度上期比 1%向上 (厚木、多摩以外の営業所)
	コピー紙使用量 2010年度比 10%削減	コピー紙使用量 2010年度比 15%削減	コピー紙使用量 2013年度対比 2%削減
	コピー紙使用量(厚木、多摩) 2011年度比 10%削減	コピー紙使用量(厚木、多摩) 2011年度比 15%削減	コピー紙使用枚数 実績監視
	廃棄物の削減及び資源リサイクル等の推進	産業廃棄物排出量 2010年度排出量以下 厚木(営)は、2011年度排出量以下	産業廃棄物排出量 2012年度排出量以下

項目	2012年度目標	2013年度目標	2014年度目標
廃棄物の削減及び資源リサイクル等の推進	再使用の推進 再使用件数 136件	再使用の推進 再使用件数 136件	再使用の推進 再使用件数 136件
環境商品	環境商品販売実績 2010年度比 10%増(本社)	環境商品販売実績 2010年度比 15%増(本社)	環境商品販売実績 2013年度実績の 2%アップ(本社、厚木、多摩)
	環境商品販売実績 2011年度比 5%増 (厚木、多摩)	環境商品販売実績 2011年度比 10%増 (厚木、多摩)	環境商品販売実績 2014年度上期実績の 2%アップ(厚木、多摩以外)
	環境商品の提案 80ポイント	環境商品の提案 85ポイント	環境商品の提案 90ポイント
	グリーン購入実施 グリーン購入率 95%	環境商品販売の厚木・多摩営業所以外の営業所への展開 グリーン購入実施 グリーン購入率 95%	営業所での環境商品販売のフォロー グリーン購入実施 グリーン購入率 95%
	グリーン調達の推進	グリーン調達の推進	事務用品のグリーン購入率 50% グリーン調達の推進
	事務用品以外のグリーン購入の導入(13種類)と拡大の検討	事務用品以外のグリーン購入の導入(13種類)	事務用品以外のグリーン購入の導入(13種類)
	法規制等の順守	SDSの配布 100%維持	SDSの配布 100%維持
地域社会との協調	会社周辺の清掃 年4回	会社周辺の清掃 年4回	会社周辺の清掃 年4回
			会社周辺の清掃 下期 2回
教育、啓蒙活動	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人	外部講習への出席 9人
	環境パトロールの実施 年6回	環境パトロールの実施 年6回	環境パトロールの実施 年6回
	下請業者への環境情報の提供 年2回	下請業者への環境情報の提供 年2回	環境情報の提供 年2回
地球に優しい流通の実現	物流関係燃料使用量について現状把握の継続	物流関係燃料使用量について現状把握の継続	物流関係燃料使用量について現状把握の継続
	CO2排出量の集計方法について検討する	CO2排出量の集計方法について検討する	CO2排出量を集計する

*1 2014年度目標は、栃木営業所、上武営業所、三重営業所、名古屋営業所及び福岡営業所での活動開始に伴い見直しを実施しました。記載しているものは見直し実施後のものです。

*2 半期分とは、2014年11月から2015年4月まで期間を指します。

(3) 環境活動：結果

2014年度の各項目の達成状況は以下のとおりです。

No.	目的	目標	判定
1	フロン回収・廃棄活動の推進	フロン回収・廃棄活動の推進	○
2	車両の排ガスのクリーン化	チャレンジ25キャンペーンの取り組み 各種施策周知	○
3	電気使用量の削減	電気使用量 2010年度対比 18%削減	○
		電気使用量 2012年度対比 1%削減 (*半期分)	○
		空調設備の更新 1台	—
4	自動車燃料使用量の削減	自動車燃料使用量 2013年度対比 1%削減 本社、厚木、多摩	×
		自動車燃料使用量 2013年度対比 1%削減 (半期分 上記以外)	○
		燃費向上 2011年度比3%向上(本社、厚木、多摩)	○
		燃費向上 2014年度比1%向上(上記以外の営業所)	○
5	コピー紙使用量の削減	コピー紙使用量を2013年度対比 2%削減 (本社、厚木、多摩)	○
		コピー紙使用枚数 実績監視 (上記以外の営業所)	—
6	廃棄物の削減	産業廃棄物排出量 2012年度実績以下	○

No.	目的	目標	判定
6	廃棄物の削減	再使用の推進 再使用件数136件	○
7	環境商品の提案	環境商品販売実績 2013年度実績の2%アップ(本社、厚木、多摩)	○
		環境商品販売実績 2014年度上期実績の2%アップ(上記以外の営業所)	○
		環境商品販売実績の監視	—
		営業所での環境商品販売実績のフォロー	○
		環境商品の提案 90ポイント	○
8	グリーン購入の推進	環境商品販売の厚木・多摩営業所以外の営業所への展開	○
		グリーン購入実施 購入率95%(本社、厚木、多摩)	○
		事務用品のグリーン購入率 50%	×
		グリーン調達の推進	○
9	SDSの配布	事務用品以外のグリーン購入の導入(13種類)	○
		SDSの配布 100%維持	○
		会社周辺の清掃 年4回(本社、厚木、多摩)	○
		会社周辺の清掃 下期2回(厚木、多摩以外)	○
10	会社周辺の従業員による一斉清掃	外部講習への出席 9人	○
11	従業員環境教育	環境パトロールの実施 年6回	○
12	環境パトロールの実施	下請業者の環境情報提供 年2回	○
13	下請業者へ環境情報提供	物流関係燃料使用量について現状把握の継続	○
14	エネルギー使用の合理化	CO2排出量の少ない流通の実現	○
15	CO2排出量の少ない流通の実現	CO2排出量を集計する	○

判定 ○：達成 ×：未達成

(4) 個別の環境活動について

①地球環境への負荷の低減

i) フロン回収

得意先の冷蔵庫やエアコンの冷媒に使用されている特定フロン(CFC)や代替フロン(HCFC)の回収作業を積極的に案内することにより、オゾン層破壊の防止に努めています。

年度	2012年度	2013年度	2014年度
回収実績(回数)	10回	7回	3回
破壊実績(回数)	59回	42回	14回
回収量、破壊量の実績(Kg)			
CFC	8.49	0.00	52.3
HCFC	109.45	24.70	29.86
HFC	2348.00	1790.25	753.1
HFO	0.00	52.6	35.8
回収実施地域	神奈川県、東京都等	神奈川県、東京都等	神奈川県、東京都等
売上金額(概算:円)	4,758,687	5,286,407	4,056,891

当社は、以下の都県でフロン回収業の登録をしています。

神奈川県、東京都、埼玉県

ii) 車両の排気ガスのクリーン化

当社の使用する車両は全て排出ガス規制の適合車となっています。

「かわさきエコドライブ宣言」に登録し、川崎市で毎年2回行われるエコドライブ講習会に参加し、ています。

また、環境省によるチャレンジ25キャンペーンに登録し、エネルギー使用の削減に協力しています。

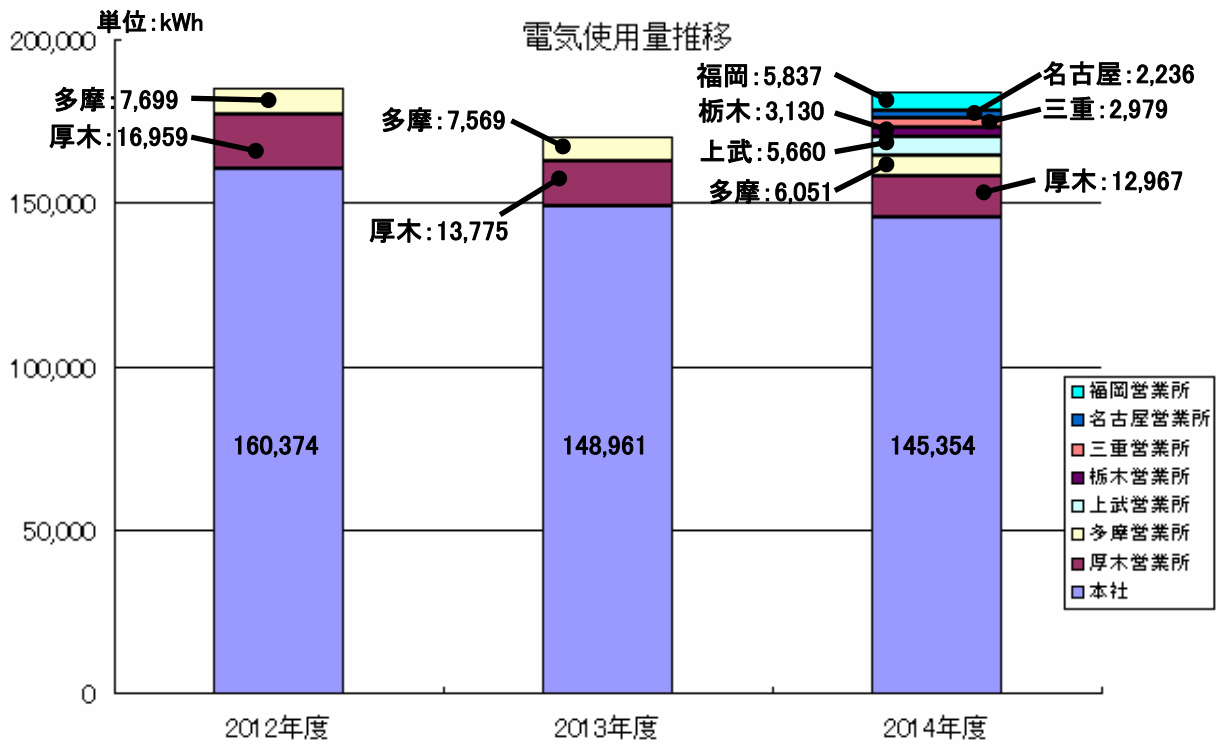
②省エネルギー・省資源の推進

i) 電気使用量の削減

電気使用量の推移は以下のとおりです。

単位：kWh

年度	2012年度	2013年度	2014年度
本社	160,354	148,961	145,354
厚木営業所	16,959	13,775	12,967
多摩営業所	7,699	7,569	6,051
上武営業所	—	—	5,660
栃木営業所	—	—	3,130
三重営業所	—	—	2,979
名古屋営業所	—	—	2,236
福岡営業所	—	—	5,837
合計	185,012	170,305	184,214



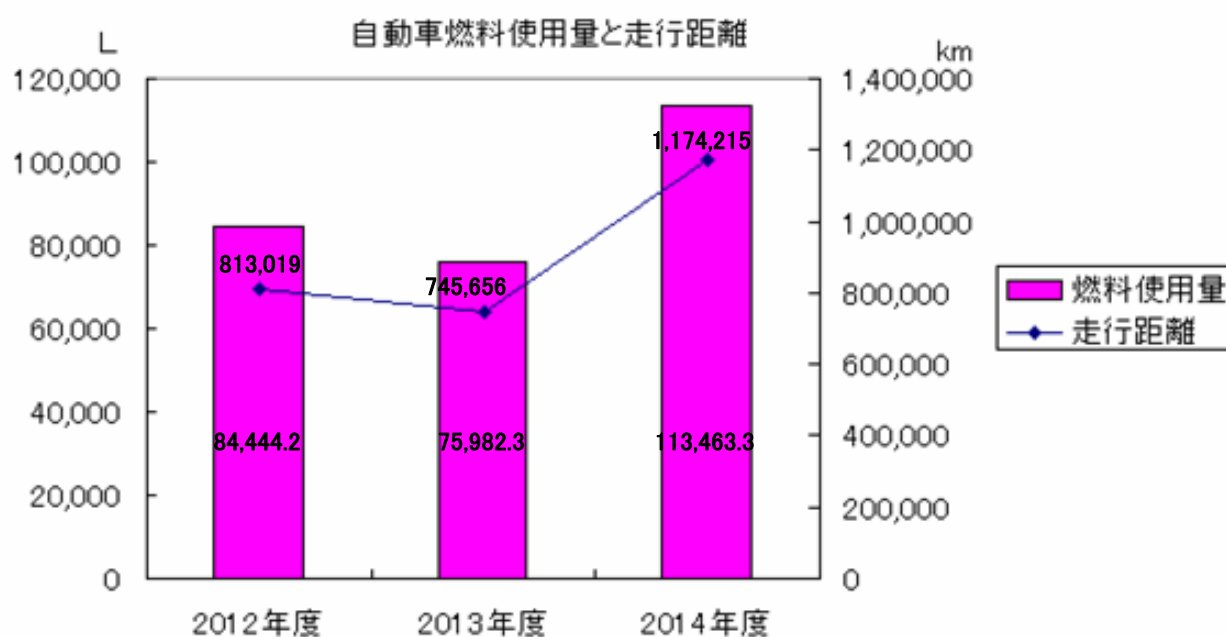
節電施策例は以下のとおりです。

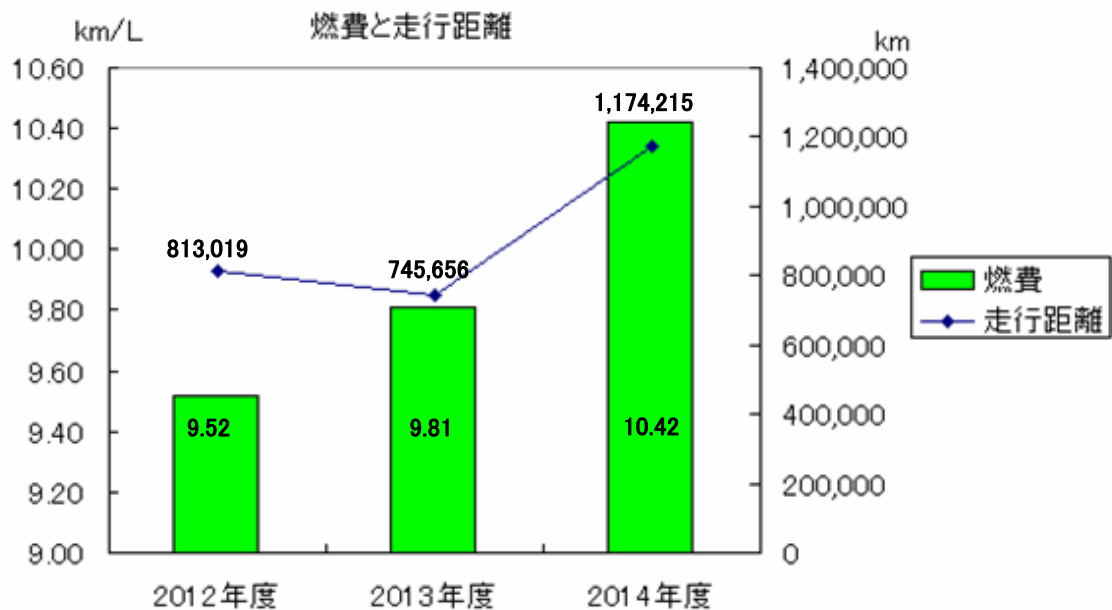
- 昼休み消灯、クールビズの実施
- 省エネルギー型安定器への交換
- 蛍光灯の間引き
- LED電球、電灯への交換
- 節電モード（PC）の設定
- 社内パトロールによる離席時消灯の励行

ii) 自動車燃料使用量の削減

自動車走行距離、燃料使用量、燃費の推移は以下のとおりです。

年度		2012年度	2013年度	2014年度
本社	走行距離 (k m)	618,973	564,103	607,495
	燃料使用量 (L)	66,517.1	59,257.04	62,799.95
	燃費 (k m/L)	9.31	9.52	9.67
厚木	走行距離 (k m)	129,015	104,249	109,721
	燃料使用量 (L)	12,205.9	9,658.60	9,785.73
	燃費 (k m/L)	11.15	10.79	11.21
多摩	走行距離 (k m)	65,031	77,304	78,388
	燃料使用量 (L)	5,721.2	7,066.66	6824.81
	燃費 (k m/L)	11.12	10.94	11.49
上武	走行距離 (k m)	—	—	106,953
	燃料使用量 (L)	—	—	10,891.26
	燃費 (k m/L)	—	—	10.33
栃木	走行距離 (k m)	—	—	112,463
	燃料使用量 (L)	—	—	9,084.36
	燃費 (k m/L)	—	—	11.77
三重	走行距離 (k m)	—	—	37,357
	燃料使用量 (L)	—	—	3,857.71
	燃費 (k m/L)	—	—	9.68
名古屋	走行距離 (k m)	—	—	16,771
	燃料使用量 (L)	—	—	1,781.53
	燃費 (k m/L)	—	—	9.41
福岡	走行距離 (k m)	—	—	105,067
	燃料使用量 (L)	—	—	8,437.68
	燃費 (k m/L)	—	—	12.45
走行距離合計 (k m)		813,019	745,656	1,174,215
燃料使用量合計 (L)		84,444.2	75,982.30	113,463.03
燃費平均 (k m/L)		9.52	9.81	10.42





※参考 当社の保有車両は以下のとおりです

自動車燃料に関する取り組みは、従来総使用量を指標としてその削減に取り組んでまいりました。

車両そのものが低燃費車へ入替えとなったり、その他様々な要因で使用量は削減されてまいりましたが、当社の車両は、営業活動で使用するため、業務との兼ね合いで使用量が増減します。従って2012年度より目標の指標を、総使用量と燃費として、活動を進めています。

	年度	自動車台数 (台)		
		2012	2013	2014
本社	乗用車	3	4	4
	トラック	3	4	4
	バン	31	33	34
厚木営業所	乗用車	4	2	2
	トラック	1	1	1
	バン	3	3	4
多摩営業所	乗用車	0	2	1
	トラック	1	1	1
	バン	4	3	3
上武営業所	乗用車	—	—	1
	トラック	—	—	1
	バン	—	—	4
栃木営業所	乗用車	—	—	2
	トラック	—	—	1
	バン	—	—	3
三重営業所	乗用車	—	—	1
	トラック	—	—	2
	バン	—	—	2
名古屋営業所	乗用車	—	—	—
	トラック	—	—	1
	バン	—	—	1
福岡営業所	乗用車	—	—	2
	トラック	—	—	2
	バン	—	—	3

iii) コピー紙使用量の削減

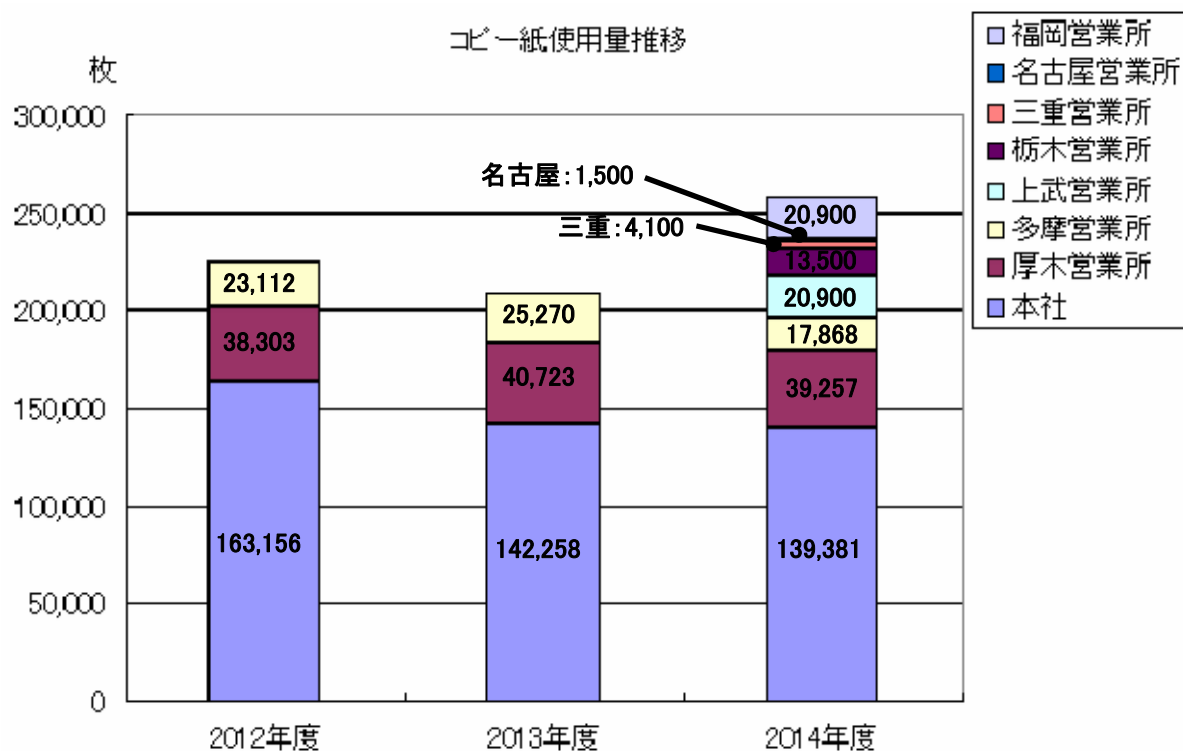
単位：枚（A4換算）

コピー紙使用量の推移は以下のとおりです。

	2012年度	2013年度	2014年度
本社	163,156	142,258	139,381
厚木営業所	38,303	40,723	39,257
多摩営業所	23,112	25,270	17,868
上武営業所	—	—	20,900
栃木営業所	—	—	13,500
三重営業所	—	—	4,100
名古屋営業所	—	—	1,500
福岡営業所	—	—	20,900
合計	224,571	208,251	257,406

施策の例：両面印刷、裏紙の使用、FAX受信の電子化等

コピー紙の購入は、グリーン購入基本方針に則り、総合評価値やエコマークなどの環境ラベルを指標に購入しています。



③廃棄物の削減及び資源リサイクルの推進

i) 産業廃棄物排出量の推移

単位：m³

	2012年度	2013年度	2014年度
本社	21.0	16.0	4.0
厚木営業所	21.0	11.0	25.5
多摩営業所	—	—	—

* 多摩営業所では、自社にて厚木営業所へ産業廃棄物を移動しまとめて委託業者に処理を依頼しています。

* 本社での産業廃棄物の主な種類は、廃プラスチック、木くず、ガラス、陶磁器くず等です。

ii) 金属リサイクルの取り組み

本社では、産業廃棄物のうち各種金属類を構内で分類し、金属リサイクル業者へ自社にて持込み、リサイクルに取り組んでいます。

2014年度は、廃棄物の量が一定量に満たず持込を実施しませんでした。

金属リサイクル業者への持込み量の推移 (単位 Kg)

	2012年度	2013年度	2014年度
アルミニウム	—	110	—
鉄	1,530	3,770	—
銅系非鉄	130	370	—
ステンレス類	190	940	—
合計	1,850	5,190	—

iii) 紙類リサイクルの取り組み

本社では、不要な紙類も発生するため、一時保管場所を設けて構内で分別し、定期的に古紙リサイクル業者へ持込み、リサイクルに取り込んでいます。

古紙リサイクル業者への持込み量の推移 (単位 Kg)

	2012年度	2013年度	2014年度
ダンボール	2,040	1,660	1,350
雑誌類	2,910	3,250	2,430
合計	4,950	4,910	3,780

* 雑誌類には、新聞紙及びコピー紙等が含まれますが、リサイクル業者へ持ち込む際には、分別しています。

iv) 再使用の取り組み

当社では、本社独自の取り組みで、事務用品を主に物品の再利用、長期使用を目的として再使用という活動を行っています。

各部署で不要なものを社内ネットワーク上に登録し、他部署がそれを再利用（再使用）するというものです。

再使用件数の推移 単位：件

年度	2012	2013	2014
再使用件数	153	175	146

* 再使用した物品の例

: ラミネートシート、電卓、書類箱、キャスター付移動棚、ボールペン、乾電池、マーカー等

④環境商品の取り組み

高圧ガスを始め各種関連器具・器材の中には、その製造過程で環境に配慮した工程となっている商品や、省資源・省エネルギーに貢献する機能を有するものなど様々な有益な商品があります。また、当社ではそういった設備の設計施工工事も行っています。

これらを環境商品として特定し、お客様に積極的に提案し販売しています。

環境商品売上金額の推移

単位：千円

部署	2012年度	2013年度	2014年度
本社	233,412	502,019	759,139
厚木営業所	68,422	77,996	93,027
多摩営業所	124	48,938	72,133
栃木営業所	—	—	91,111 (下期のみ)
上武営業所	—	—	44,293 (下期のみ)
三重営業所	—	—	156 (下期のみ)
名古屋営業所	—	—	35,202 (下期のみ)
福岡営業所	—	—	126,045 (下期のみ)
合計	301,958	628,953	1,221,106
上記8部門の売上総額	11,357,210	11,308,824	10,591,587

主な環境商品の例

◎エネトラップ

工場の蒸気配管に設置される省エネ型スチームトラップです。

エネトラップは、ドレイン水と蒸気を分離してドレインのみを安定的に排出します。

蒸気ロスを減らせるため、ボイラーの燃焼を抑制することができます。

蒸気を排出しないので、高い省エネ効果が得られます。



◎スーパー次亜水

スーパー次亜水は、食材や水道水、プールなど広範囲で使用されている次亜塩素酸ナトリウムを弱酸性にpH調整した除菌水です。

従来の除菌水は浄化槽の細菌に影響を与えるので、排水の際中和処理が必要でした。

スーパー次亜水は弱酸性、低濃度であり、中和処理が不要です。太陽光などで分解するので、環境負荷が低い除菌材です。



⑤グリーン購入・調達の推進

環境負荷低減に貢献する商品を優先的に購入しています。

当社で購入する物品のうち、得意先へ販売する商品を対象として「グリーン調達ガイドライン」を設け、環境に配慮した製品を取引先様へ提供し、環境負荷低減を図り、地球環境保全を推進しています。

⑥地域社会との共生

本社、厚木営業所、多摩営業所では、事務所周辺の清掃活動を実施しています。各年度4回実施を計画し、実施しています。2014年度の下期から活動を開始した上武営業所、栃木営業所、三重営業所、名古屋営業所、福岡営業所でも、それぞれ2回実施しました。

*清掃実施区域

- (a) 本社 本社の面している国道15号線を東京方面に向かい、新子安駅脇の陸橋を利用して戻る両側の歩道
- (b) 厚木営業所 営業所入り口を中心に、右側は隣のガソリンスタンドまで、左側は回り込んだ土手のグリーンベルトまで
- (c) 多摩営業所 営業所正面道路の左右及び都道59号線の周辺
- (d) 栃木営業所 駐車場側町道東側から駐車場側町道西側まで

- (e) 上武営業所 駐車場及び周辺
- (f) 名古屋営業所 寅新田交差点から谷内工務店まで
- (g) 三重営業所 営業所正面道路の左右
- (h) 福岡営業所 営業所から富士見産業まで

清掃の様子

(本社)



(厚木営業所)



(多摩営業所)



(栃木営業所)



(三重営業所)



(福岡営業所)



⑦法令順守の状況

2014年度の主な法令等の遵守状況は以下のとおりです。

名称（一部略称あり）	主な要求事項	遵守状況
高圧ガス保安法	販売業届出、販売主任者選任、周知の実施	○
液化石油ガス法	販売事業登録、保安業務の実施	○
毒物劇物取締法	事業登録、取扱責任者選任、保管状況、譲渡書の保管	○
医薬品医療機器等法	卸売り販売業許可、	○
労働安全衛生法	安全責任者・衛生責任者選任、各種講習・特別教育の受講	○
廃掃法	特別管理産業廃棄物管理者の選任、マニフェスト管理、報告	○
フロン排出抑制法	届出、回収量の報告	○

また、P R T R法等で規定されているSDSにつきましても、配布済みです。

⑧物流関連のエネルギー使用の状況

お客様への高圧ガスの納入には様々な形態があります。

- ・ 当社の配送車を使用した配送
- ・ 配送契約による当社専属の配送車による配送
- ・ 製造メーカーからの直送

など

単位：千トンキロ

そこで、当社では当社の配送車、専属の配送車、並びに直送のタンクローリーのうち当社の備車分など配送形態として荷主に該当する分について、省エネルギー法に定めるトンキロ法によりその使用状況を監視しています

年度	2012年度	2013年度	2014年度
輸送量	3,348	5,292	3,147

⑨教育関連

年2回実施する管理層を含めた定期教育のほか、外部講習に積極的に参加しています。

年度	2012年度	2013年度	2014年度
参加人数（延べ）	19名	13名	14名

※ 2014年度で参加した外部講習の例

I S O 1 4 0 0 1 内部監査員養成セミナー、横浜グリーンネットワーク総会、環境審査員講演会、エコドライブ講習会、環境配慮法説明会など

⑩2014年度CO₂排出量

項目	エネルギー源 CO ₂ 排出係数 (環境省ホームページより)	使用量	CO ₂ 排出量 k g
電気使用量	0.464kg/k w h	184,214 k w h	85,475.296
L P ガス (※1)	1.8 kg/m ³	76.4 m ³	137.52
水道	0.16kg/m ³	1,323 m ³	211.68
ガソリン	0.64kg/l	113,463l	72,616.32
ごみ (※2)	0.24kg/kg	1,333.4kg	320.016
排 出 量 合 計			158,761

※1 自家使用のため概算

※2 1 m³ = 1,000 kgに換算

CO₂排出量の推移

単位：k g

年度	2012年度	2013年度	2014年度
CO ₂ 排出量	136,750	128,484	158,761

6. 各種団体への参加

当社では、環境活動の取組みに際し、さまざまな団体に参加しています。当社が参加、加盟している団体は以下のとおりです。

- ・GPN（グリーン購入ネットワーク）
- ・YGPN（横浜グリーン購入ネットワーク）
- ・横浜市地球温暖化推進協議会
- ・地球環境対策研究支援機構
- ・かわさきエコドライブ宣言会員（川崎市環境局環境対策部交通環境対策課）
- ・チャレンジ25キャンペーン（環境省）

7. 投資

単位：円

番号	項目	2012年度	2013年度	2014年度
1	備品	322,560	265,732	125,969
2	設備工事	0	0	0
3	審査登録等	588,220	1,005,763	488,186
4	講習研修	260,182	181,434	195,591
5	法令等書籍	253,805	237,156	210,650
	合計	1,424,767	1,690,085	1,020,396

補足 2014年度の主な内容は以下のとおり

備品 : LED蛍光灯、CO₂モニター、発泡スチロールの溶剤、自動車運転状況モニター

審査登録等 : 審査登録費用、グリーン購入ネットワークへの登録費用

講習研修 : 内部監査員講習

法令等書籍 : 法令データベース維持費用、定期購読書籍、JIS規格書



株式会社 渡商会

〒221-0021 横浜市神奈川区子安通 2-234

TEL 045-441-1330 FAX 045-441-1567

<http://www.watari.co.jp>